



制作
長野県高等学校文化連盟
新聞 専門 部

第 5 号

2018信州総文祭
担当：軽井沢高校生徒会 金井百合 依田沙也佳

軽音楽部門プレ大会

県外バンドも出演 交流深める

「2018信州総文祭軽音楽部門プレ大会 POWER LIVE 2018 Z pre」が、8月4日に長野市芸術館で開催され、参加者、観客ともに、多くの音楽に触れ、楽しんだ。この大会は、6月10日に下諏訪総合文化センターで行われた中野信大会と、6月17日に東御市文化会館サンテラスホールで行われた東北信大会という、いわゆる地区大会で上位をとったバンドが参加する県大会を兼ねた大会。今回は、平成30年度に長野県で行われる「2018信州総文祭」軽音楽部門のプレ大会として、他県からも参加を募り、大阪や兵庫、奈良などから8団体が参加。計40バンド、196名がクールでホットなステージを繰り広げた。



ヴォーカル5人が並んで圧巻のステージを披露する鶴見商業高の皆さん

大阪・鶴商 伝統の「四姉妹」躍動

大阪府の大阪市鶴見商業高校のバンド「四代目鶴商軽音姉妹（シスターズ）」は参加した40バンドの中で最も多い12名で編成。ヴォーカルは5名でキーボードを3台使用し、電子パーカッションなど、長野県の高校バンド演奏では見たこともない楽器が使用され、5人のヴォーカルが踊りながら歌うという、アイドルのライブのような光景がステージ上を広がった。

2年生のヴォーカル担当、涌嶋茜さんは「初めての遠征で、少し緊張していましたが、とてもいい会場で演奏させていただけ、お客さんとても嬉しかったです。大阪にはないものを沢山見ることができました。沢山吸収して、自分たちの力にしたいです」と語ってくれた。

オリジナル曲で挑んだ「四代目鶴商軽音姉妹」は今回の曲作りについて、ふざけているのか、と思われそうなの曲になったけれど、見ている人が楽しめる曲にできた。もっと周りを見て！というメッセージを伝えることができた。と思う」と胸を張った。



中央大杉並高メチルオレンジの皆さん

東京・中大杉並 心に届く歌詞 工夫

東京の中央大学杉並高校から参加したバンド「メチルオレンジ」のメンバーは、曲を作るに当たって、自分の好みで曲を作るのではなく、聞いた人の心に歌詞を届けられるようにしたという。そして「長野県ではお客さんがステージの近くまで行って応援しているんですね。東京ではそういうのは乏しくなかった。皆で一体になって演奏してると感じて、とても羨ましかったです」と語る。

また「演奏の準備の手伝いまで生徒たちでやるんですね。これも東京にはない事なので、驚きました。とても良いことだと思います」とも話した。

審査の結果、メチルオレンジは「準最優秀賞」に選ばれた。

審査の結果、メチルオレンジは「準最優秀賞」に選ばれた。

審査結果

- ▼第1位最優秀賞・うえい
うえい うえい!! (丸子修学館)
- ▼第2位準最優秀賞・メチルオレンジ (中央大杉並・東京)
- ▼ベスト4優秀賞・てんとうむし (長野吉田)
- ▼四代目鶴商軽音姉妹 (大阪市立鶴見商業・大阪)
- ▼ベスト8特別賞・ネオネットラ (飯田風越)
- Aut To Too (東海大諏訪)
- Seikola d e la us (兵庫県立武庫荘総合・兵庫)
- E・漢児 (飯田OIDE長姫)
- ▼ベスト16審査員賞・MEMO (高遠)
- モノカリフォルニア (伊那弥生ヶ丘)
- + natural (野沢南)
- かき上げ (諏訪二葉)
- じゃにふぁ〜 S (上田染谷)
- Mercury (草津東)
- 滋賀) Time Limit (清水国際・静岡)
- 魍魎魍魎 (上田東)



皆で楽しめる大会に
来年度の「信州総文祭」に向け軽音楽部門の実行委員を務める上田東高校2年、峯村楓雅さんと原歩夢さんは「(信州総文祭では)皆が楽しめるような企画を考えたいですね。他県からも沢山の人が来るので、暖かく迎えて、皆で一丸となって楽しめるような大会にできたらいいな、と思います」と意気込みを話した。

この部門のなび助は長野県内の高校生と岡学園トータルアカデミーの協力により作成されました。